



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：財務省次官による付加価値税（VAT）導入の否定（2月21日付ガルフ・ニュース）

IMFは、安定した歳入確保の観点から全てのGCC諸国に対して税金導入の検討を勧告しているが、現在の地域におけるインフレ圧力、金利カットの影響などから税金導入は後回しにされている。

1. 財務省のユニース・コーウニー次官は、財務省はVAT導入に関して、いかなる機関に対しても研究・調査を指示していないと述べ、財務省としてはVATの早期導入を否定するコメントを述べた。
2. IMFはGCC諸国に対して2008年から税制の導入を勧告しているが、コーウニー次官は、新しい税制の導入は簡単な問題ではなく、慎重な検討が必要であること、加えて各国は新税制の運営・管理システムの導入・準備を行う必要があり、このような問題はGCCの財政・経済委員会会合で検討されなければならないと述べた。
3. また、財務省のカーリド・アル・ブスター二次官補も、VAT導入についてGCC各国は慎重に検討を進めるべきであるとして、コーウニー次官と自身の発言は政府を代表してのものであると付言した。